

予算常任委員会報告

6月18日 開催

委員長 大西 則宏

予算常任委員会に付託されました「令和2年度能勢町一般会計補正予算(第3号)」、「令和2年度能勢町一般会計補正予算(第4号)」、「令和2年度能勢町一般会計補正予算(第5号)」、「令和2年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)」、「令和2年度能勢町介護保険特別会計補正予算(第1号)」、「令和2年度能勢町下水道事業特別会計補正予算(第1号)」、「令和2年度能勢町水道事業会計補正予算(第1号)」について委員会を開催し、予算内容を審議しました。採決の結果、いずれも賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は次のとおりです。

令和2年度能勢町一般会計補正予算(第3号)

問 学校運営協議会、地域学校協働本部の設置拡充調査研究事業について、どのような調査研究するのか。また、住民の関わり方は。

答 教育の活性化を行うため、地域学校協働本部を設置する。グローバル人材育成、めざす子ども像の研究など様々な取組みについて、協議会の委員に地域からさまざまな団体に入ってください。

問 学習支援員配置事業について、業務内容の変更はあるか。また、学習支援員はどのように協力していくのか。

答 今回からの事業である。国の1次補正によるもので、補助率は60%である。学習支援員には、様々な業務に対して補助をしてもらう。

問 コミュニティ助成事業の詳細内容、現在の自主防災組織の件数と今後の取り組みについて問う。

答 1地区30万円を5地区の自主防災組織(野間中区、野間大原区、嘉村区、宿野北区、森上区)に助成する。現在10地区で進められているが、可能な限り立ち上げてもらいたい。助成金は、防災資機材等に活用していただきたい。

問 農業用ハウス強靱化緊急対策事業の申請件数と補助率、また、大阪版認定農業者支援事業の町の補助率はいくらか。

答 農業用ハウス強靱化緊急対策事業の申請件数は5件、補助率は50%である。また、大阪版認定農業者支援事業の町補助率は5%である。

令和2年度能勢町一般会計補正予算(第4号)

問 災害対策費における赤外線体温測定器、エアシェルターの主な用途は。

答 赤外線体温測定器は、シアターのイベント等に使用が考えられる。エアシェルターについては、様々な活用が想定され、緊急医療用で医療機関への貸与等、状況に応じて検討して行く。

問 GIGAスクール構想(ICT教育環境)整備において、シラバス(授業計画)の構築とコロナ第2波第3波の対応について、どのように考えているのか。

答 コロナ第2波第3波までに、端末一人1台の整備は難しい。家庭にある環境で対応願いたく、今後、各家庭の通信環境を調査し対応を考えていきたい。シラバス(授業計画)については、準備を進めている。研修等については、ICT支援員事業などで対応を考えている。

令和2年度能勢町一般会計補正予算(第5号)

賛 否

原案可決

西河 巧	森田 則子	奥 久明	伊木真由子	大平喜代江	平田 要	長尾 義信	中西 顕治	岡本ひとし	中植 昭彦	大西 則宏
○	○	×	○	×	○	○	×	○	×	委員長

注:委員長は採決に加わりません

問 今回の訴訟に対する弁護士費用の必要性、弁護士費用の算出根拠、裁判期間について。

答 情報公開請求を経た提訴であるので、対応したい。費用は算出基準によるものであり、裁判期間は事案による。

令和2年度能勢町介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 低所得者の保険料減額について、基金繰入れ減額に伴う検討状況を問う。

答 保険料の軽減には用いることができないため、コロナ関係の支援で検討中である。